

観光局 観光・交流室

観光政策グループ TEL 059-224-2077
国内誘客グループ 2802
海外誘客グループ 2847
FAX 059-224-2482
E-mail kanko@pref.mie.jp

「三重県観光振興プラン」に基づき、三重県観光を推進する中、激しくなる観光地間競争に打ち勝ち、三重の「観光力」を高める基盤として、「三重県観光振興条例（仮称）」の制定に向けた検討を進めるとともに、今後の戦略展開のあり方についても検討を進めます。

また、神宮式年遷宮に向け、エリア別の情報発信や誘客を展開する中で、主要なマーケットである中京圏の強化をはじめ、都市圏に向け、本県の観光と物産等の魅力の情報発信等に積極的に取り組みます。

観光政策グループ

1 集客交流の推進

(1) 観光事業推進費（国・一部県単）（国内誘客グループ;海外誘客グループ）

45,072千円（21 37,326千円）

観光事業の推進のため、観光基礎データの収集・調査や、国及び他府県、関係機関との連絡・調整、情報収集等の活動を行うとともに、三重県観光の活性化をはかる基盤となる三重県観光振興条例（仮称）の制定に向けた検討を行います。

(2) 県営サンアリーナ管理事業費（県単）

320,681千円（21 240,652千円）

① 県営サンアリーナ管理運営費

スポーツ・文化・産業の振興と集客交流の促進をはかる上での拠点となる県営サンアリーナの管理運営を、指定管理者に委託して行います。

② 県営サンアリーナ環境整備費

県営サンアリーナの施設修繕を計画的に行います。

新(3) 観光関連緊急雇用創出事業費（ふるさと雇用再生特別基金事業）

（緊急雇用創出事業）

（国内誘客グループ;海外誘客グループ）

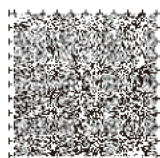
219,577千円（21 38,200千円）

① 観光関連ふるさと雇用再生事業費

三重県への誘客をはかるため旅行会社等への観光商品の販売促進、伊勢志摩地域への教育旅行誘致や情報発信などの受入対策等を行います。

② 観光関連緊急雇用創出事業費

民間企業等の創意工夫に基づいた企画提案型観光活性化事業及びニーズに応じた人材を育成し雇用につなげる雇用マッチング事業 他全9事業を行います。



国内誘客グループ

1 情報発信・誘客戦略の推進

- (1) 「旅ごころ誘う三重奏」誘客戦略推進事業費（国・一部県単）〔120頁〕
132,664千円（21 124,457千円）

首都圏・関西圏・中京圏・県内等エリア別の情報発信・誘客戦略を展開します。

さらに、首都圏等遠隔地からの来訪者の利便性と旅の魅力を向上させる2次交通を活用した旅行商品の企画・販売促進の取組を充実します。

- (2) 教育旅行誘致事業費（県単） 1,720千円（21 2,754千円）

中長期的な視点に立った三重ファン・リピーターの確保に向け、首都圏等からの修学旅行誘致、県内及び隣県からの社会見学等教育旅行の誘致を進めます。

- (3) 自動車観光情報発信事業費（県単） 1,699千円（21 4,060千円）

自動車利用の観光客の利便性向上に向けて、自動車観光の特性に応じた観光情報発信を行います。

- (4) 観光情報提供事業推進費（国・一部県単） 45,381千円（21 46,601千円）

本県の知名度の向上や観光イメージ付けを行うため、(社)三重県観光連盟等とも協働して観光情報提供事業等を実施します。

2 観光の魅力づくり・人づくり

- (1) 魅力ある観光地グレードアップ支援事業費（県単）〔121頁〕
15,530千円（21 15,688千円）

地域資源の魅力を最大限に引き出し、新たなツーリズムへの対応など、地域が主体的に行う、資源の発掘・磨き上げ・創造の取組を支援します。

- (2) 三重の観光プロデューサー設置事業費（県単） 8,179千円（21 10,992千円）

「三重の観光プロデューサー」を設置し、そのノウハウを最大限に活かして地域の観光商品づくり等への取組を支援するとともに、商品化のプロセスにおいてノウハウの蓄積、交流を通じた人材育成を進めます。

- (3) フィルムコミッション促進事業費（県単） 390千円（21 395千円）

県内各地で芽生えつつあるフィルムコミッションづくりの機運の醸成や各地のフィルムコミッションの全県的な連絡調整システム及び全国フィルムコミッション連絡協議会のホームページでの情報発信を行います。

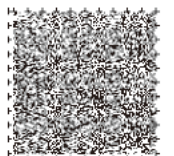
- 新(4) 観光需要創出キャンペーン事業費（県単）〔121頁〕 12,600千円（21 - 千円）

割引クーポンなどの付加価値を組み込み、本県への観光需要を創出するキャンペーンを実施するとともに、フェリーなど公共交通機関を活用した旅行商品を造成、販売することにより、県内誘客を促進します。

3 快適性の向上に資する社会基盤整備

- (1) 熊野古道シャトルバスの活用による熊野古道の魅力増進事業費（県単）
13,200千円（21 13,200千円）

東紀州地域への観光客の利便性・快適性の向上に寄与するため、遠隔地等からの主要な玄関口となる名古屋と熊野古道、拠点施設となる熊野古道センターを結ぶシャトルバスを地域等と共同運行します。



海外誘客グループ

1 外国人観光客の誘客推進

(1) 外客誘致推進事業費（国・一部県単）〔121頁〕 33,036千円（21 32,000千円）

国のビジット・ジャパン・キャンペーン事業に呼応し、東アジア地域を中心に各種プロモーションや誘客活動を展開するとともに、新たに外客プロデューサー機能を新設し、専門的な見地による効果的な事業展開への立案・調整機能を強化します。

新(2) 三重県の交通・物産資源を活用した訪日旅行商品造成支援事業費（県単）〔121頁〕

17,400千円（21 - 千円）

海上アクセスやフェリーを利用した訪日旅行商品の造成を委託し、韓国、台湾及び中国のマスメディアを通じて、県産品のプレゼント企画等も活用した新たな県内への誘客促進と、県内観光事業者（宿泊、交通、観光施設）の回復をはかります。

